

Part 7

「津波てんでんこ」の巻



どうして、名前が「てんでん」になったかは分かったわね？



うん！「津波てんでんこ」からつけたんだよね！

ドジョウじゃないよ、ウナギだよ！

じゃあ、「津波てんでんこ」の意味は知ってるの？

なぜ、山なのかはあと後でね♪



かあお母さん！



はじめまして

し、知らないけど...

知りたい、知りたい!!
おし教えて！
いろんなことを知って
いくのって、ホントに
たのしい♪

てんでんのお母さん
静岡 やま子 (しずおか やまこ)



じゃあ、^{はな}話^すわね。

つなみ 津波てんでんこ



さんりく ^{ぼしよ} 場所は、津波が^{つなみ} なんとか来ていました。
 だから、さんりく ^{おおじしん} 三陸では、^{つなみ} 大地震のあとに津波が^{かんが} 来るとも考えて、
 すこしでも^{はや} 早く逃げるために^{おや} 親や^{きょうだい} 兄弟を待つことなく、それぞれ
 が^{ばらばら} バラバラに^に 逃げて^{じぶん} 自分の^{いのち} 命を守ろうという^{おし} 教えがあります。
 それは、かぞくの^{だれ} 誰かを^ま 待っている時、津波に^{とき} おそわれることが
 あると、^{いっか} 一家が^{ぜん} 全めつしてしまうこともあるからです。
 それほど、^{つなみ} 津波が^く 来るまでに^{ひなん} 避難する^{じかん} 時間は^{すく} 少ないということが
 いえます。

^{せいこう}これを成功させるためには…



かぞくの^{あいだ} 間で、^ひ ふだんの^{やくそく} 日に^{たいせつ} 約束しておくことが大切です!!
^{うみ} 海の^{ちか} 近くで^{おおじしん} 大地震が^お 起きたら、^{ぼしよ} その^{すた} 場所を^{とちてん} スタート地点にして、
 「よーい、^に どん！」で^{やくそく} 逃げることを、かぞくで^{やくそく} 約束しておきましょう。



よーい、どん!!



^{じしん} 地震が^き 来たら
でしよーが!

